

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	イオンモール株式会社 イオンモール名古屋茶屋
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	愛知県名古屋市港区西茶屋二丁目11番
工場等の名称	イオンモール名古屋茶屋
工場等の所在地	愛知県名古屋市港区西茶屋二丁目11番
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	その他
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	ショッピングセンターの運営・管理
計画期間	平成33年4月1日 ~ 平成36年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	平成33年7月9日 ~ 平成36年3月31日		
公表方法	○	揭示 閲覧	(場所) イオンモール名古屋茶屋 AM事務所
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-309-6911		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

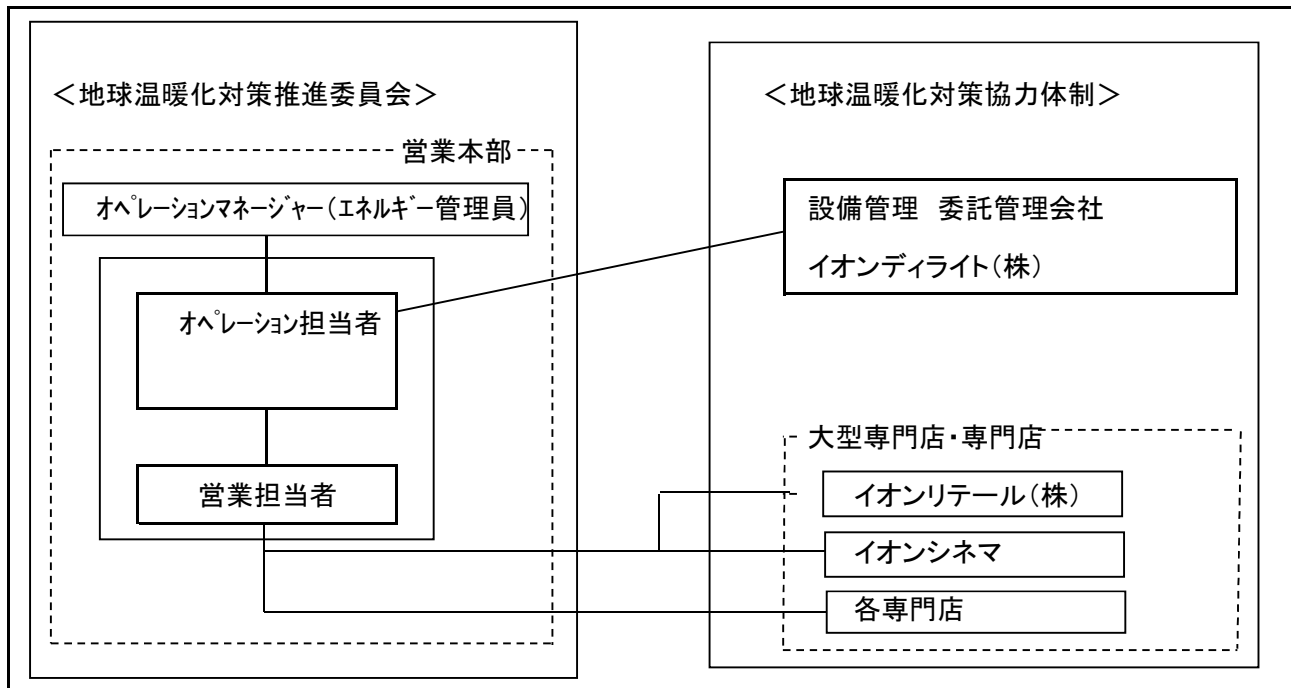
(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社はショッピングセンターの開発・運営・管理を通じて、地域社会の発展に貢献する商業専門ディベロッパーとして、地球環境に配慮し事業活動のあらゆる面において、地球環境の保全と改善に努めます。

地球温暖化の防止及び資源の削減、環境負荷の最小化に資するためエネルギーの管理活動、環境の保全と汚染の予防に継続して取り組みます。

廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和2年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		9,920	t-CO ₂
①を 除く （温 室効 果ガ ス換 算） 二 酸 化 炭 素 排 出 量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		9,920

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度 令和2年度 排出量（実績）		目標年度 令和5年度			
			目標排出量		目標削減率	
温室効果ガス 総排出量	9,920	t-CO ₂	9,424	t-CO ₂	5.0	%

項目	基準年度 令和2年度 排出量（実績）		目標年度 令和5年度			
			目標排出量		目標削減率	
原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂		%

(2) 目標設定の考え方

初年度（令和3年度）2%の削減と翌2年間で3%を削減し令和5年度迄に5%の削減目標とする。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
空調機器の効率化	①FCU、PAC空調室内機フィン洗浄を定期的を実施 ②運転時間の見直しを随時実施	洗浄・清掃を汚れ等に応じインターバル化
照明電力量の削減	①日没時間をもとに外灯点灯時間の見直しを実施 ②風除室・ESC・EVホール間接照明についても省エネ点灯を推進 ③後方の照明をこまめに消灯 ④定期的にライトダウンイベントを実施 ⑤老朽化したLED照明を交換し、電力効率を向上	目標年度の電力量を基準年度から5%削減
熱源機器消費電力削減	①省エネ空調システムBAMDS導入 ②冷水・温水設定温度の見直し	目標年度の電力量を基準年度から5%削減

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
2014年	太陽光発電設備	パワーコンディショナ容量250KW 1064枚

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

1 中間期の外気冷房を実施 2 廃棄物の分別回収を推進し、リサイクル率の向上を図る 3 アイドリングストップの推進（警備巡回・案内放送）
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

地球環境デーなどに館内及び外壁のライトダウンキャンペーンを実施
